

【安全大会盛大に開催される】

平成 1 9 年度安全大会が 4 月 2 0 日（金）田村市大越公民館に於いて、4 2 名の出席者により盛大に開催されました。（報道関係者除く）

始めに社長より、地方は厳しい環境にあります。いかなる環境にありましても、労働災害はあってはならないものであり、人命尊重の基本理念のもとに誰もが健康で安全で安心して働くことが出来る明るい快適な職場を形成していかなければならない。労働災害の発生状況は、長期的には減少傾向を示していますが、労災保険新規受給者が 5 5 万人を超える労働者が被災し、そのうち死亡災害者は 1, 5 0 0 人を超える尊い命が失われている。最近では交通労働災害（多重災害）が多発傾向を示し、地方にとって車はなくてはならないものであり、一層の安全運転管理体制を計らなければならない。建設業は公共投資の削減、地方交付税の削減や談合問題により、入札改革が行われ全面的に一般競争となり、益々受注が困難な状況に置かれており、こうした中で死亡災害が発生すれば行政処分、社会の制裁を受け企業経営は重大な事態におかれ、存亡の危機に陥るので十分認識し、災害ゼロを目指し、心と体の健康づくりに職場の安全活動を推進していかなければならないと挨拶がありました。



今年度の勤続表彰者は、新田義英様、武田雅章、実沢栄夫様、菅野肇様の 4 人が永年会社に対して職務に精励し貢献されましたので表彰されました。

安全標語表彰では、最優秀賞に大山守様の「びしっと決めようきれいな現場事故一掃！」優秀賞に松崎浩徳様の「慣れた作業に予期せぬ危険抜く確認省くな点検」桑原英子様「大切ですいつもの確認大きな安心」が選ばれ、表彰されました。

公演では、阿呆鳥の 2 人によるライブが行われました。デビュー曲「物語」、テレビドラマ化された「愛した分だけ」、ゴジテレ土曜盤で地方に行きその人の生い立ちや出来事に対して作詞作曲した「徒然話」など 1 0 曲の歌を披露してくださいました。どの曲も聴いているだけでその思いや情景が判るような気になりましたし、昔を思い出しながら聞き惚れてしまいました。本人も話しをしていましたように、顔は今一のようでしたので、目をつぶって聞いてましたら迫力あるし、なんと素晴らしい声だろうと感心しながら聞いていました。そのせいか CD を 2 枚（全曲）も買ってしまいましたので、聞きたい方は申し出てください、お貸し致します。曲の合間に話した言葉で印象に残った言葉を綴ってみました。



コップに半分の水があります。これをまだ半分もあると前向きにとらえるか、もうこれしかない、悲観的に考えるかで人生も変わるので、前向き思考に考えて人生を楽しく過ごした方がよい。同じ仕事をするにも、本気になって仕事に取り組めば楽しくなるし、仕事をしていて楽しくないのは、本気になって仕事に向かってないとのこと。どんなときでも春はいつかはやってくる、長い冬でもいつかは春が来る、冬の長い人、短い人、人それぞれ違うが、春の来ないときは有り得ないので物事に対して一生懸命取り組みれば良いとのこと。あと本を読まない人が沢山いるし、親も子も読書が足りないと聞いたとき、私も読書が足りないため、熟語がでてこない、文書の付け出しができない等で、毎回安全広報誌を作成するのに苦労しております（反省）

今年度の安全標語募集に当たりまして、4 3 名の方々から 7 2 作品と多数の応募頂き本当にありがとうございました。